

テーマ

日時

対談
文学という
生き方

司会：塚崎謙太郎
西日本新聞くらし文化部長

令和5年
5月21日(日)
14:00~16:00(13:30開場)

入場無料

東山
彰良
AKIRA HIGASHIYAMA▲

沼田
真祐
▼SHINSUKE NUMATA

定員

150名

※先着順にて受付。

事前の申込みが必要です。

定員になり次第、締め切らせていただきます。

会場

西南コミュニティーセンター
ホール

(西南学院大学 東キャンパス内)
福岡市早良区西新3丁目13-1

会場のご案内は
こちら→



地下鉄空港線
西新駅3番出口より
徒歩5分

申込方法

WEB・メール・官製はがきのいずれかでお申込みください。

●WEBでのお申込み



●メールでのお申込み／event@kyubunkyo.jp

●はがきでのお申込み／〒810-0001 福岡市中央区天神 1-4-1

公益財団法人九州文化協会「文学カフェin福岡」係

- ・メールの場合は、件名に「文学カフェin福岡」と明記し、メール本文に、はがき同様①～④をご記入ください。
 - ・はがきの場合は、文面に①氏名(ふりがな) ②電話番号 ③ご住所 ④同伴者の有無(1名まで可)を記載のこと。
- WEB・メール・はがき到着後、1週間以内に応募受付メールまたははがきをお送りします。
万が一、1週間たってもメールやはがきが届かない場合は、事務局までお問合せください。

※駐車場はございませんので、
公共交通機関をご利用ください。

・主催：(公財)九州文化協会 ・共催：西日本新聞、西南学院大学「ことばの力養成講座」(法学部・田村元彦) ・後援：西南学院大学

■内容についてのお問合せ：公益財団法人九州文化協会 ☎ 092-711-5586(平日10時~16時)

ひがしやま

あきら

東山 彰良さん

小説家。1968年台湾生まれ。5歳まで台北で過ごした後、9歳で日本に移る。西南学院大大学院修士課程修了。第1回「このミステリーがすごい!」大賞銀賞・読者賞受賞作を改題した『逃亡作法TURD ON RUN』で2003年に作家デビュー。09年『路傍』で第11回大藪春彦賞、15年『流』で第153回直木賞、16年『罪の終わり』で第11回中央公論文芸賞受賞。17年から18年にかけて『僕が殺した人と僕を殺した人』で第34回織田作之助賞、第69回読売文学賞、第3回渡辺淳一文学賞受賞。近著は西日本新聞などに連載された『怪物』。

ぬまた

しんすけ

沼田 真佑さん

小説家。1978年北海道小樽市生まれ。父親の転勤で各地を転々とし、中学時代から20年間福岡市で過ごした。西南学院大卒業後、会社勤めをしながら執筆を開始。両親がいる盛岡市に移住していた2017年、東日本大震災前後の岩手を舞台にした「影裏」で文学界新人賞と芥川賞を受賞。2020年には同作を原作とする映画「影裏」が全国公開された。現在は仙台市在住。21年4月から6月まで西日本新聞紙上に連載随筆「アナザー・サイド・オブ」掲載。

司会は西日本新聞くらし文化部長の塚崎謙太郎(つかざき けんたろう)さん

芥川賞への近道

九州芸術祭文学賞に応募しませんか

第54回(令和5年度)

九州芸術祭文学賞 作品(小説)募集

■応募期間/令和5年5月1日～8月31日(必着)

■最優秀作/賞金30万円及び「青木秀賞」20万円

■佳作/賞金7万円

■地区優秀作/賞金5万円

■地区次席/賞金2万円



九州を超えて行け!

■応募資格:九州各県・沖縄県在住者 ■応募作品:小説(未発表の作品1編、同人誌を含め既発表作品は不可) ■応募条件:400字詰め活字用紙55枚～60枚 ■応募送り先:居住する県、政令指定都市の「九州芸術祭文学賞作品15」まで ■選考:①地区選考→九州各県、沖縄県、北九州市、福岡市、熊本市の計11地区で地区優秀作1編、決選1編を選出。②最終選考→11地区の地区優秀作の中から最優秀作1編を選出。■入選発表:地区優秀作・地区次席→令和5年11月上旬、最優秀作→令和5年1月下旬、令和5年2月に文学賞授賞式、最優秀作、地区優秀作は「第54回九州芸術祭文学賞作品集」(令和5年3月発行予定)に掲載。

最優秀作品は「文学界」(文藝春秋社刊)4月号に掲載!

【お問い合わせ先】公益財団法人九州文化協会・福岡市中央区天神1-4-1 西日本新聞会館内 ☎092-711-5586 (平日10時～16時)

詳しい応募要項はホームページ [九州芸術祭文学賞](#) [検索](#)

1970年に誕生した「九州芸術祭文学賞」(小説)は、公益財団法人九州文化協会が九州・沖縄各県、福岡・北九州・熊本の3政令指定都市との共催で運営し、54回を数えます。

各地区選考、最終選考の二段階で審査を行い、最優秀作は『文学界』(文藝春秋刊)に掲載されます。

中央の文壇の目が届きにくい地方の文学賞では異例のことで、第27回最優秀作『水滴』(目取真俊)はそのまま芥川賞に輝きました。

このほか、村田喜代子、又吉栄喜、大道珠貴の各氏ら芥川賞作家たちも、本賞受賞を足がかりに文壇デビューを果たしました。

第54回の応募は2023年5月1日にスタートします。

九州芸術祭文学賞から巣立った 芥川賞作家たち

第7回最優秀作「水中の声」村田喜代子

1987年「鍋の中」で芥川賞

第8回最優秀作

「ジョージが射殺した猪」又吉栄喜

1996年「豚の報い」で芥川賞

第27回最優秀作「水滴」目取真俊

1997年、同作で芥川賞

第30回最優秀作「裸」大道珠貴

同作で芥川賞候補 2003年「しょっぱいドライブ」で芥川賞

公益財団法人九州文化協会/〒810-0001 福岡市中央区天神1-4-1 西日本新聞会館内 ☎092-711-5586(平日10時～16時)

詳しい応募要項はホームページ

九州芸術祭文学賞

検索